

## 2018年3月期 決算説明会 Q&Aサマリー

**Q: 今期（FY2018）計画（T&M売上600億円、営業利益35億円）に対するリスクは何か？**

今期（FY2018）は5G関連での売上がモバイル計測ビジネスの30%程度であり、依然として、LTE  
**A:** 関連の売上が大きな割合を占める。従って、LTE計測市場の想定を超える縮小が主なリスクと考えている。

**FY2012はT&M売上高712億円、営業利益150億円の利益が出ていた。FY2020ではT&M売上高700億円、営業利益100億円を目標にしている。FY2012と比較して収益体質は良くなっていると思われるが利益が出てこない理由は何か？**

FY2012は、LTEのR&D市場とスマホ製造市場が成長ドライバーとなり、収益に貢献した。FY2020は、成長ドライバーである5Gの売上割合はモバイル計測ビジネスの50%程度で、立上り時期のコ  
**A:** ストを含め収益性は、FY2012当時と異なると考えている。  
また、FY2012は北米の基地局用測定器も利益を獲得できていたが、5Gの基地局の展開にはまだ時間がかかる見通しである。

**Q: GLP2020で計画しているPQA事業の海外市場拡大のための具体的な施策は何か？**

**A:** 販売力、サポート力の一層の強化に取り組む計画である。また、事業拡大を支えるIT関係のインフラ投資も合わせて進める。